

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">基礎ゼミ I</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部日文2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">浅尾 広良</p>
<p>授業テーマ</p> <p>『竹取物語』と〈異境〉を考える。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>『竹取物語』は月の都（異境）から「かぐや姫」がやってくる話です。浦島説話は、この世の人である「浦島」が蓬莱の国（異境）に行く話です。このように、日本の昔話や物語には〈異境〉との関わりを描いたものがたくさんあります。このゼミでは、〈異境〉とは何かを考えながら、昔の人が〈異境〉とこの世との関係をどのように捉えていたかを〈言葉〉の意味を深く掘り下げることから考える。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席、授業への取り組む姿勢、発表の三者を総合して判断する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『新版・竹取物語』</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">室伏信助</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">角川ソフィア文庫</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 「異境」という存在。</li> <li>2 『竹取物語』の構造① かぐや姫はなぜこの世に来たのか。</li> <li>3 『竹取物語』の構造② 竹取物語にとっての異境とは何か。</li> <li>4 浦島説話の構造① 浦島説話における異境とは何か</li> <li>5 浦島説話の構造② 浦島説話における異境とは何か</li> <li>6 読み解くポイントの解説①</li> <li>7 読み解くポイントの解説②</li> <li>8 発表（担当者1・2・3）</li> <li>9 発表（担当者4・5・6）</li> <li>10 発表（担当者7・8・9）</li> <li>11 発表（担当者10・11・12）</li> <li>12 発表（担当者13・14・15）</li> <li>13 発表（担当者16・17・18）</li> <li>14 発表（担当者19・20・21）</li> <li>15 発表（担当者22・23・24・25）</li> </ol>		